

28. 血中ミオグロビン RIA の臨床的検討、とくに下肢虚血性疾患例での下肢血流
スキャンとの比較 分校 久志他...118

29. 内頸動脈海綿静脈洞瘻に対する核医学的検査 前田 敏男他...118

30. 脳梗塞患者の脳 RI アンギオグラフィーが灌流増加を示す時 前田 敏男他...119

31. 限局性肝疾患におけるシンチスキャナーとシンチカメラ像 油野 民雄他...119

32. ^{99m}Tc -コロイド肝シンチ疑診例における超音波検査の有用性 油野 民雄他...119

一般演題

1. ^{99m}Tc 溶出液の放射化学的純度

天野 良平 真田 茂
安東 醇
(金沢大・医技短)
前田 敏男 森 厚文
久田 欣一
(同・核)
小村 和久
(同・理)

^{99}Mo - ^{99m}Tc ジェネレータから溶離される溶出液 $^{99m}\text{Tc O}_4^-$ の放射性核種の純度を測定することは、 ^{99m}Tc の放射性医薬品の品質管理の立場から重要である。演者らは、不純物核種の定量的測定を行なった。 γ 放射体は、Ge (Li) 半導体検出器による γ 線スペクトロメトリーにより、 ^{90}Sr , ^{239}Pu は、放射化学分離法により単離した後、 ^{90}Sr は液体シンチレーション法で ^{90}Y を測定し、 ^{239}Pu は α 線スペクトロメトリーにより定量した。

その結果、以下の点が判明した。(1) 最近使用されているジェネレータは、核分裂生成物の ^{99}Mo を使用している。(2) 溶出液中に測定された不純物核種は、 ^{131}I , ^{103}Ru および ^{140}Ba のいずれも核分裂生成物であった。(3) ^{90}Sr , ^{239}Pu については、それぞれ $3.6 \times 10^{-7} \mu\text{Ci}/\text{ml}$, $1.7 \times 10^{-9} \mu\text{Ci}/\text{ml}$ 以下という値が得られた。

2. フェリチンの RIA—鉄欠乏性貧血の診断と治療に関して

斎藤 宏
(名大・放科)
林 大三郎
(同・放部)

鉄欠乏性貧血 (IDA) は貯蔵鉄が枯渇する時に顕在化する。貯蔵鉄の指標としては従来、骨髄ヘモジデリン、デスフェラールテスト、血清鉄、UIBC などが用いられてきたが、骨髄ヘモジデリンは半定量的であり、デスフェラールテストは貯蔵鉄増加時にのみ定量的であり、IDA の診断には適しない。血清鉄や UIBC は必ずしも貯蔵鉄を反映しない場合があるが、フェリチンの値が低い場合は貯蔵鉄の減少を確認できる。IDA では TIBC の増加と血清鉄の減少が特徴的で、フェリチンの測定を行なうまでもないケースがほとんどであるが、IDA の合併症や、例外的ケースではフェリチンは有力な指標である。IDA 治療経過観察上も、フェリチンは貯蔵鉄を良く反映する。TIBC, UIBC, 血清鉄のラジオアッセイとフェリチン RIA *との関係を症例を追って報告した。